

市営バス運転手の乗務中のスマートフォン操作について

市営バスの運転手が、乗務中にスマートフォンを操作していたことが判明しました。
安全運行に努めるべき市営バスの運転手がこのような行為を行ったことについて、市民の皆さまに対し深くお詫びいたします。

交通局としてこの事態を重く受け止め、実効性のある再発防止策を実施してまいります。

1 発生日時 6月20日(火) 8時8分頃

2 発生場所 7時45分 緑ヶ丘3丁目発(八木山動物公園駅経由)長町駅東口行き
「西高校入口」停留所付近の交差点

3 経過

6月20日の12時20分頃にお客様から電話にて、当日乗車した市営バスで運転手が「西高校入口」停留所を通過後、信号待ちしていた際にスマートフォンでゲーム(ポケモンGO)を行っていたとの指摘があった。早急に本局においてドライブレコーダーの映像を確認するとともに、当該運転手に対し事情聴取を行ったところ、乗務中にスマートフォンでゲームを行っていたことが判明したものの。

4 運転手 交通局自動車部長町営業所 再任用職員(男性60歳)
勤続32年10ヶ月(昭和59年8月採用)
※現在は乗務させておらず、自宅待機としている。

5 再発防止に向けた取組み

(1) 携帯電話等の利用を緊急時に限定する取扱いの徹底

携帯電話は運行中の事故等で緊急通報(119番、110番)を行うため持ち込むものであることから、今後は営業所内で携帯電話・スマートフォンの電源を切り、専用の収納バックに入れて施錠(鍵は営業所内で保管)し、バス車内ではグローブボックスに格納することとする。

必要となった場合には収納バックに備え付けのカッターで収納バックを破り、携帯電話・スマートフォンを取り出し、電源を入れて通報する。

(2) 無作為での運転状況の確認

バス運転中のドライブレコーダーの映像を無作為に抽出し、運転状況の確認を行う。